

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・いじめ問題への対応では、アンケート調査や個人面談などで早期発見、早期対応に努めることができた。また、特技集会などの取組により、児童の自己肯定感を高めることができた。 ・課題であった「元気の挨拶」については、年間を通して様々な手立てを打ったことにより児童の意識の高まりが見られた。その意識の高まりを行動につなげていくための更なる取組が必要である。 ・地域の素材を生かした学習活動とくに力を入れた。一年を通して、地域の方々と積極的な交流ができ、地域のよさを感じ取っている児童も多い。
------------------	--

2 学校教育目標	は：励んで光る た：愉しんで光る つ：つながって光る
----------	----------------------------------

3 本年度の重点目標	① 思考力、判断力、表現力の育成を目指した授業の創造を図る。 ② 自他の生命や人権を尊重する心、自己肯定感・自己有用感の育成を図る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○算数科を中心とした確かな学力の定着	○既習内容を基に考えた自分の考えを発表し、友達の発言に反応する児童80%以上	・校内研において「授業展開の工夫」「練り合う過程の充実」を中心におき、促進を図る。 ・下学年、上学年、特別支援の3グループに分かれ、それぞれのグループで授業を見せ合う。 ・スキルタイムでは、計算プリントやeライブラリを活用し、基礎基本の定着を図る。							・研究主任 ・学力向上対策コーディネーター
	○家庭学習の充実	○児童・保護者アンケートで「集中して家庭学習に取り組んでいる」と答える児童・保護者ともに80%以上	・課題の出し方(質・量)や自主学習の進め方など、家庭学習に関する職員の共通理解を図る。 ・自ら取り組みたいような家庭学習の工夫を行う。 ・家庭と連携して取組を進め、帰宅後の有効な時間の使い方を考えさせ、学習習慣の定着を図る。 ・「スタディウィーク」「ノーマディア・家読ウィーク」を設定する。							・研究主任 ・学力向上対策コーディネーター
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生活アンケートによる相手を思いやる言葉遣いができる児童95%以上	・集会活動(平和集会、人権集会、特技集会等)や道徳等の授業実践により、自他ともに大切にしようとする心を育む。 ・「すてきポスト」に全校で取り組むことで、自己肯定感の向上につなげ、友達のよさに目を向ける児童を育てる。							・人権・同和教育担当 ・道徳教育推進担当 ・文化・特活部主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○保護者アンケートの「いじめに対する学校の取組」の評価を85ポイント以上	・心のアンケート(1回/月)と個別の面談を定期的に行い、いじめ等の早期発見、早期対応に努める。 ・職員連絡会で気にしたい子の報告をして共通理解を図って対応する。							・教育相談担当 ・生活部主任
	●◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童75%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童70%以上	・職員が見つけた児童のよさや頑張りを「すてきポスト」で全校で紹介する活動を積極的に行う。 ・キャリアパスポートを活用し、教科や行事、体験活動と関連付けた指導を行う。 ・自分の将来の夢や目標について考える授業を計画的・積極的に行う。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考え、平日に朝食を摂取する児童90%以上	・「健康に食事は大切である」と児童が認識するような取組を委員会で行う。 ・給食試食会や健康教育の授業を行い、保護者も巻き込んだ取組を行う。 ・栄養教諭と担任が連携して、食育の授業を行う。							・食育推進担当 ・保体部主任
	○目標をもって体力づくりに取り組む教育活動	○天気のよい日には外遊びをしたり一輪車の練習をしたりするなど、進んで運動ができる児童90%以上	・健康委員会主催で、スポーツ・レクリエーションを行う。 ・健康タイムで一輪車の練習をしたり縄跳びをしたりして、児童の運動への意欲を高める。 ・昼休みに一輪車の道具を出したり、一輪車カードを作成したりして、楽しく遊べるようにする。 ・県保健体育課実施のスポーツチャレンジを利用し、積極的に運動に関われるようにする。							・保体部主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・業務記録票を基に勤務時間の管理を行い、超過勤務時間が多い職員については、個別に指導や支援を行う。 ・定時退勤日の実質的な実践をする。 ・行事や会議の精選・効率化、時間短縮を進める。							・管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域とともにある学校	○地域の「人・もの・こと」を活用した教育活動の推進	○各学年1回以上の地域人材活用 ○地域のよさを知り、地域に誇りや愛着があると感じる児童90%以上	・年間カリキュラムを見直し、地域と連携した効果的な教育活動を計画する。 ・コミュニティセンターや地域団体と連携し、児童が地域を素材とした学習にスムーズに取り組むことのできる環境を整える。							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------